

Cisco Wireless 860 および 860S のバッテリーガイドラ イン

概要

Cisco Wireless Phone 860 および 860S は、バッテリーが取り付けられた状態で出荷されます。これは携帯電話の主電源であり、携帯電話の寿命中に簡単に取り付け、取り外し、交換できるように設計されています。

最適なパフォーマンスを維持し、バッテリーの寿命を延ばすには、メインバッテリーの適切な取り扱い、充電、保管が不可欠です。長期間にわたって完全に枯渇しないようにしてください。バッテリーの状態を維持し、日常使用における携帯電話の信頼性を確保するために、以下の推奨充電および保管ガイドラインに従ってください。

重要なガイドライン

- Cisco Wireless Phone 860 および 860S は、バッテリーが取り付けられた状態で出荷されます。バッテリーの寿命と容量を最大限に高めるには、初めて使用する前に必ず携帯電話を完全に充電してください。
- 適切な保管および充電方法に従うと、Cisco Wireless Phone 860 および 860S のバッテリーの予想耐用年数は、約 18 か月または 500 回の充電サイクルのいずれか早い方になります。したがって、メインバッテリーを 15 ~ 18 か月ごとに交換することを積極的に計画することをお勧めします。
- Cisco Wireless Phone 860 または 860S のメインバッテリーを長期間完全に使い切らないでください。特に、携帯電話を保管する場合は、バッテリーの有効寿命を維持するために、6 か月ごとに定期的に 100% までメンテナンス充電を行う必要があります。

- 充電されたメインバッテリーを装着していない状態で 1 か月以上携帯電話を保管しないでください。携帯電話が損傷する原因になります。
- 電池が必要以上に長く棚に置かれないようにするために、電池を長期間保管することを避けて在庫レベルを低く維持することをお勧めします。

バッテリーヘルスガイドライン：

- バッテリーを取り外すには、バッテリークリップを軽く押し下げ、バッテリーを少し持ち上げ、損傷を防ぐために接点を滑らせないように慎重に引き抜く必要があります。
- 職場でのバッテリーの取り付けでは、バッテリーのタブをバッテリー収納部のスロットに合わせ、斜めに挿入し、バッテリークリップがカチッと音がするまで押し下げます。バッテリーの接点を損傷しないようにし、Cisco ブランドのバッテリーのみを使用してください。詳細については [こちら](#) をご覧ください。
- この携帯電話は **ホットスワップ** 機能をサポートしており、携帯電話の電源を切らずにメインバッテリーを交換できます。ホットスワップ手順では、メインバッテリーを取り外し、60 秒以内に新しいバッテリーを取り付けます。
- メインバッテリーが適切に充電されていない場合、または寿命が近づいている場合、低バッテリーアラートが表示されることがあり、さらに携帯電話の性能が急激に低下し、最終的には電源が入らなくなる可能性があります。
- 携帯電話のバッテリーの状態を確認するには、デバイスで「設定」->「バッテリー」に移動します。
- エラーや損傷を避けるため、Cisco 指定のバッテリーと電源のみを使用してください。
- Cisco は 860 および 860s の予備/交換用バッテリーを提供しています。詳細については、Cisco の営業担当者にお問い合わせください。
- ほこりや湿気の多い環境では、バッテリーの取り付けや取り外しを行わないでください。
- バッテリーを氷点下、直射日光、または高温 (140°F/60°C 以上) の保管場所に放置しないでください。
- バッテリー端子を分解したり、押し潰したり、穴を開けたり、焼却したり、金属物を接触させたりしないでください。
- バッテリーは地域の規制に従って廃棄し、交換についてはシスコの営業担当者にお問い合わせください。

バッテリー充電オプション:

- バンドルに含まれる USB-C 充電器とケーブルを使用して、携帯電話を充電できます。
- サポートされる充電入力には、5VDC 3A、9VDC 2A、12VDC 1.5A が含まれます。
- 電話機やバッテリーの充電には、スタンドアロンのデスクトップ充電器とマルチ充電器が利用できます。デスクトップ充電器は電源なしで販売されており、電源は別途注文する必要があります。
- マルチ充電器は、設定可能な組み合わせにより、複数の携帯電話とバッテリーを同時に充電できます。
- 周囲温度が 104°F (40°C) を超える場合は、バッテリー パックの充電を避けてください。

バッテリーの安全性と取り扱い:

- 破損または液漏れしている電池は注意して取り扱ってください。電解液が皮膚に付着した場合は、石鹼と水で洗い流してください。目に入った場合は、15 分間水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 電話機と互換性のある Cisco 電源のみを使用してください。
- Cisco ワイヤレス フォンのバッテリーには、Cisco の 90 日間の限定保証が適用されます。到着した電池が切れている場合は、交換を依頼する前に少なくとも 8 時間充電してください。
- 重大な損傷を受けたバッテリー コンタクト ピンは修理不可能であり、Cisco 保証の対象外です。軽微な変形は、適切な工具を使用してバッテリー接触ピンを慎重に折り曲げて正しい位置に戻すことで修復できる場合があります。Cisco はこのアクション中に生じた損害に対して責任を負いません。

追加の考慮事項:

- バッテリー パックは、市販の USB 壁掛け充電器とケーブルを使用して電話機内で充電することも、デュアル スロット充電器またはドッキング ステーションの背面スロット、またはマルチ充電器スロットで充電することもできます。
- 携帯電話のバッテリーパックの充電は、電源がオフの状態でもオンの状態でも可能です。電話機を充電器に挿入したときに電源がオフになっている場合、自動的に充電が開始されますが、完全には起動しません。充電が完了すると電源が切れます。充電中は、携帯電話が振動して充電が開始されたことを知らせます。

- 明らかな原因もなく電話機が頻繁に再起動する場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。
- 取り外されたバッテリーパックは、長期間保管したり使用しないままにしたりしないでください。むしろ、予想される寿命を維持するために定期的に充電する必要があります。
- 未装着のバッテリーパックを 12 か月以上保管する場合は、バッテリーの有効寿命を維持するために、定期的に 100% までメンテナンス充電を行う必要があります。メンテナンス充電により、バッテリーは最大容量まで充電されるはずですが。
- 適切な保管と充電方法に従うと、バッテリーの予想耐用年数は、パフォーマンスが低下し始めるまでの約 18 か月または 500 回の充電サイクルのいずれか早い方になります。このバッテリー技術では、1 回の充電サイクルは、バッテリーが 100% の充電状態に相当する量まで放電されるたびに定義されます。例: バッテリーの容量が 20% 放電されてから充電されるという動作を 5 回繰り返します。5 回の 20% 放電の合計は 100% 放電に相当し、これが 1 回の放電サイクルになります。
- バッテリーを管理する最も簡単な方法は、バッテリーの使用開始から約 15 ~ 18 か月ごとに交換を積極的に計画することです。
- 860 および 860S の Li-Ion バッテリーの性能は、その寿命の間に徐々に低下しますが、バッテリーの耐用年数が終わりに近づくと、電話が動作しなくなるまで性能が急激に低下します。
- 使用していないときは携帯電話の電源を切ってください。
- 電源が入っている携帯電話は、施設の無線カバレッジエリア内にとどめておいてください。ワイヤレスネットワークの電波が極めて弱い、不安定、または利用できない場合、携帯電話のバッテリーはより早く消耗します。
- 極端な環境はバッテリー寿命に悪影響を及ぼします。特に、極端な低温 (-5°F/-20°C 未満) や高温 (158°F/70°C 超) では注意が必要です。また、バッテリーパックを 45°C (113°F) 以上に加熱しないことが重要です。これによりバッテリーパックに重大な損傷が生じる可能性があり、火災や化学やけどの危険につながるおそれがあります。

まとめ：

Cisco Wireless Phone 860 および 860S には、初めて使用する前に完全に充電する必要があるバッテリーがプリインストールされています。最適なパフォーマンスを維持するために、18 か月ごと、または約 500 回の完全充電サイクルごとにバッテリーを交換することをお勧めします。長期間にわたってバッテリーを完全に使い切ることは避け、シスコ認定のバッテリーと充電器のみを使用し、適切な取り扱い、充電、および保管のガイドラインに従って、バッテリーの安全性と寿命を確保してください。交換品または追加サポートについては、Cisco の営業担当者にお問い合わせください。

参考文書リンク：

1. [Cisco Wireless Phone 840 および 860 管理ガイド - 電話機のセットアップ](#)
2. [Cisco Wireless Phone 840 および 860 ユーザガイド - 電話機のセットアップ](#)
3. [Cisco ワイヤレスフォン 840 および 860 導入ガイド](#)